

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2年 8月 4日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470101654		
法人名	有限会社かざぐるま		
事業所名	グループホームはるかぜ		
所在地	広島市安佐北区亀山南二丁目8-20 電話 082-819-1107		
自己評価作成日	令和2年6月20日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3470101654-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和2年7月31日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

自治会に加入しています。季節の地域行事に積極的に参加させて頂いています。ご近所の方々にも温かく声をかけて頂き、利用者の方々様を気に掛けて頂いています。地域と共に歩んでいるグループホームです。利用者の持てる力やこれまでできていた事が継続してできるような支援に力を入れています。またご家族との交流がいつでもできるように支援しています。本人家族の要望にできる限りの柔軟な対応を心がけてます。食事は三食手作りで施設内に野菜を切る音や食事のできる美味しそうな香りが毎日あります。入浴も毎日のように行っています。主治医の了解あれば入居後の主治医の継続も可能です。昨年より4名の方の看取りをさせていただきました。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

利用者の好きなこと、得意なことに着目し、個々の出来ることはして頂き、出来ないところは職員がサポートしている。理念に基づいた年間目標を掲げ、ホームが目指すべき方針が明確化され、地域ニーズも取入れた運営方針としている。一人ひとりの生活リズムに合った「本人主体」の介護支援がされている。地元行事が盛んな地域で、季節毎の行事があれば準備段階から参加し、近隣住民との関わりを重ね、顔なじみの関係ができている。食事面に関しても、買い物の調達から三食手作りを基本とし、出前や外食を適宜取り入れ、食の楽しみと喜びを味わう取り組みをしている。働きやすい職場環境づくりに力を入れ、職員の意見要望を職場改善に活かしている。職員同士が話しやすい雰囲気があり、話し合いを重ねることで利用者の想いを実現している。

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	職員新人研修の際の文書として説明し理念を共有している。また、事業所内に掲示している。	新人研修の際には”理念とは何か、なぜ必要なのか”十分説明している。事業所内に掲示し、常に職員が意識できるようにしている。一年間の振り返りをする中で、年度目標を掲げ取り組んでいる。問題点があれば、必ず理念を確認、共有して支援の振り返りを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	事業所が自治会会員として地域の行事に参加している。運営推進会議にも地域の方々に参加いただき交流している。しかしこの数カ月はコロナの事があり行事が中止になるなどして交流できていない。それでも、近所の方が毎週開催している野菜市には買い物に行っている。	地元行事が盛んな地域でもあり、認知症カフェ、グランドゴルフ、地元のとんど祭りなどに季節毎の行事があれば準備段階から参加している。近隣への買い物などを通して近隣住民との関りを重ね、顔なじみの関係ができていく。日々の関りから地域の理解が得られている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	同じ地域の他事業所、包括支援センターと協力し啓発活動に取り組んでいる。積極的に地域行事に参加することで認知症の方への理解を共有できる機会を設けている。	/	
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	利用者家族、地域住民、消防署員等参加していただいている。また他事業所と合同で開催し情報交換を行っている。頂いた意見を会議で共有しケアに活かしている。	取組み状況を報告され、情報交換の場として意見交換をしている。利用者は会議開始から参加を基本としている。その内、年3回は利用者や家族との触れ合う機会を増やすため、家族会を行っている。他事業所と合同で開催することで、お互いに情報交換の場となっている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	事業内容、サービスについて必要な連絡、情報、報告、相談を行い協力している。	実情や日頃の取組みについて、情報を共有し円滑な連携が維持出来るよう尽力されている。地域包括支援センター主催の近隣グループホーム連絡協議会に参加し、情報交換の場となっている。高齢者徘徊SOSネットワークの相談をした経緯がある。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	運営推進会議の中で身体拘束適正化委員会を実施、意見を交換している。職員の研修を定期的に行い、職員会議で取り上げ実践につなげている。玄関のカギは利用者さんが中から簡単に開けられるようなもので実際に開けて外出されている。	身体拘束をしないケアを日々実践している。運営推進会議で普段の困りごとを事例提供し、参加者からアドバイスを頂いている。安全面を考慮し、適所にセンサータイプを活用している。玄関は日中開放し、利用者の要望に応じて職員と一緒に屋外に出ている。現在拘束する例はない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	行政主催の研修に参加し事業所内の研修を定期的に行い意識を高めている。また不適切なケアについて相談報告しやすい環境作りに取り組んでいる。気になる事は細かいことも会議等で取り上げている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	法人外の研修に参加、支援に活かしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	利用者、家族との話し合いの時間、回数を十分にとり、対応している。質問があれば詳しく納得を得ていただけるように説明している。見学は面会制限の間は外から中を見ていただいた。他のホームとの違いや特徴なども説明した。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議、家族会に参加していただき意見をいただいている。また、面会に来られた際や電話などで食事内容についての事や、義歯の不具合、洗濯物の洗い方など気付いた事をその都度話していただける。	年3回の家族会を利用し、意見を聞く機会を設けている。家族の面会者が多く、その都度様子を報告したり、電話連絡などこまめに対応している。例えば食事の量を増やして欲しい要望から、実現した経緯がある。ホームでの近況報告、個人写真を活用した手紙送付をしている。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期的に会議の場を設け意見を反映させている。	正職員は年1回、非常勤職員は3年に1回の個人面談を実施している。日頃から職員同士が話しやすい雰囲気である。OJTを中心とした人材育成に取り組み、現場の声を大切にし、個々の職員状況に応じた柔軟な勤務調整をした経緯がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	定期的に見直しを行い労働条件の改善を行っている。面接の際には一人一人に意見を聞いている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人外の研修に職員が積極的に参加できるように費用負担を行い勤務に組み込んでいる。法人内の研修も定期的に行っている。初任者研修等が緊急事態宣言で一旦中止になるなどしたが現在は研修が再開している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	他事業所と合同で運営推進会議を開催する等交流の機会を作っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	十分な時間をとり利用者の納得が得られるよう対応している。入居前の面談に伺い話を聞いている。		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族の納得が得られるよう時間をかけ回数を重ねて関係づくりに努めている。質問等には施設で対応可能な事とそうでない事も話し理解を得ている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	時間をかけ本人家族のニーズを見極め、特養や老健など事業所外のサービスも利用していただけるよう対応、アセスメントを行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご自身でできる事したいことを妨げないよう支援を心がけている。食事作り、掃除など利用者自身の意欲に合わせて共に取り組んでいる。無理強いはいはしない様に心がけている。時には利用者の方から台所に来て手伝っておられる姿もある。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会や電話等で日頃の様子を話したり、面会制限中も何かあれば相談し、利用者の誕生日や母の日等の贈り物があれば写真を撮って送ったりした。また入居後のご家族の困りごとの相談の話も聞いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	手紙のやり取りや面会など本人の希望に沿って支援している。ご近所な方なども面会に来られている。面会制限中でも電話による対応やリモート面会を提案したりベランダからの面会などを実施した。	生活歴を把握し、日々の関りから利用者の思いでの場所を大切に考えている。知人・友人との交流、地域の行事や、馴染みの美容院に行くことで、旧知の関係性を紡いでいる。月一回の認知症カフェの参加の折に、自宅へ立ち寄る方もいる。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	レクリエーションの開催や参加の在り方に利用者同士の関係性を配慮した対応を行っている。無理強いすることなく少人数や個別のレクリエーションもしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	本人家族の必要に応じた支援を行っている。退居後に相談があれば応じている。他の施設に移ったり、在宅復帰の際には居宅事業所とも協力した。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人のニーズの把握のために対話を行いケアプランを作成している。意向の表出が困難な方には家族に協力していただき本人の体調やADL、精神状態に配慮したり、これまでの生活を考えて検討している。	毎月プラン会議を実施している。意向や要望を把握し、職員間で情報共有し、時間経過と共に新たな情報や想いを掘り起こし、本人主体の介護計画に活かしている。例えば新聞を個人で購読している方は、朝に玄関脇のポストに取りに行くなど個々の生活習慣を大事にしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人・家族からの聞き取りを行いアセスメントを行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	生活記録に詳細に残し職員に情報の共有をしている。時間は職員主体の流れにならない様に気をつけている。施設の周辺は自由に散歩されている。		

自己評価	外部評価	項 目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	毎月のケアプラン会議を開催し個々の気づきや提案は議案書として提出、検討している。	法人独自の介護計画書を活用し、本人の好きなこと、得意なことに着目している。利用者、家族の意向を把握し、多様な視点から介護計画書を作成している。相手が不快にならないような表現、語句に気をつけている。介護計画書を基に日々の支援をされている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	生活記録を詳細に残しケアプランの変更に関することは議案書として提出し検討を行っている。また入院などで本人の状況が変わりつつある時は細かいプラン変更をしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	コロナによる面会制限中は、家族の依頼があれば買い物代行や、受診の代行、またリモート受診の支援もした。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	訪問理容、訪問歯科、傾聴ボランティアや地域の行事参加など地域資源と利用者をつなげる支援を行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	本人家族の意向に沿ったかかりつけ医により受診、訪問を受けている。施設の協力医以外のかかりつけ医の訪問もある。	今までの病歴を踏まえ、入居時に、本人家族と相談し、かかりつけ医を決めている。週一回以上の訪問看護と内部の看護職員が7人配属され、一人ひとりの健康チェックをしている。病状に応じて、家族と相談し、対応している。有事の時は、主治医と共にオンコール体制で対応している。	

自己評価	外部評価	項 目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に一回以上訪問看護と、内部の看護職員が体調チェックを行い連携できるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時に相互の情報交換を行っている。入院中の訪問も行い、病院関係者とも相談している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	本人家族、主治医と話し合いを行い看取りを含めたケアプランを作成している。利用者の状態によりその都度家族主治医と話し合いをしている。契約時にも施設の看取りに関する説明と同意をいただいている。	入居時に家族への説明は行われ、重度化した場合改めて主治医と家族と話し合いをして、看取りプランを作成し、チームで支援出来るよう取り組んでいる。看取りの反省や振り返りを行い次の支援に活かしている。希望があれば家族は寝泊まりすることが可能としている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急対応マニュアルを作成し研修を定期的に行い職員の能力向上に努めている。会議の際も病気や病状に応じた内容の研修を行ってきた。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防訓練を定期的に行い消防署員からの指導を受けている。また地域の自主防災会と連携し合同で避難訓練を行うなど協力体制を築いている。	定期的な火災避難訓練に加え、学区の自主防災会に参加したり、事業所として地域協定を結んでいる。自主防災会と連携し、合同で避難訓練を行うなどしている。災害時用として、備蓄品を約3日間飲食出来る、非常食・水など取り揃えている。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	接遇の研修を行っている。新人研修時も利用者の呼び方や声掛けなどを気を付けるよう徹底している。また同性の利用者に声掛けするときは下の名前で呼ばないなどを徹底している。申し送りも利用者の耳に入らない様にリビング以外で行うように注意している。	初任者研修、OJTと充実した研修体制が確立され、接遇技術の向上に努めている。例えば愛称で呼ばない、必ず下の名前で呼ばないようにする。申し送りも利用者の耳に入らないように配慮するなど徹底している。相手が不快な思いをさせないように、十分気をつけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	身だしなみや食事など本人の意思を尊重し強制はしていない。本人が意思表示ができる方はその都度聞きながら行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入浴やレクリエーション・行事参加はご本人の意志、意欲に沿って行っている。ご本人の趣味、日課などは妨げない様になっている。起床時間や就寝時間にもきっちりした決まりはなく本人のペースに合わせている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	外出や行事参加などTP0に合わせた身だしなみを支援している。また訪問理容を利用していただいている。面会制限中も散髪は別室でもできるように対応した。また、家族と散髪に行かれた方もおられる。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	本人の意欲と能力にあわせて共に作業している。味付けや量も一律でなく利用者により変えている。無理強いせず食器洗いや下膳などをしていただいている。三食が手作りなので食事時間が近くと皆さんは食事はまだかと楽しみにしている利用者もいる。	買い物の調達から三食手作りを基本としている。適宜、出前や外食（ファミリーレストラン、餃子の王将、回転寿司など）を楽しむこともある。誕生日には、本人のリクエストに応えるように努め、食を楽しむ事が出来る支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	栄養バランスに関する研修を行っている。また利用者の状態好みに合わせた食事、間食も提供している。いつもと違う様子があれば個人記録に残して食事形態を変更している。水分摂取時間も特にこだわらず自由にお茶が飲めるようにテーブルにお茶や湯呑みを出している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後利用者に応じた口腔ケア実施している。希望者には訪問歯科も利用していただき、指示指導してもらっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	入所時に紙パンツだった利用者が布パンツになったケースもあり排泄の自立に向けた支援を行っている。トイレで排泄する事の大切さも会議等で話して、ズボンの上げ下げや清拭などをできる方にはやっけていただくように徹底している。	おむつは最終手段として、紙パンツから布パンツへの移行を目指している。個々の排泄パターンを事前に個別記録で把握し、座ることが可能な方はトイレに座ることを基本に、排泄の自立支援に繋げている。排泄がスムーズに行えるように、工夫しながら取り組みをしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	便秘薬に依存傾向のある利用者さんに対しては主治医と相談しながら薬に頼らなくても済むように話し合う。また水分、食事の内容を検討し取り組んでいる。食材にも繊維の多い物や乳製品を取り入れるよう気をつけている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。	利用者の希望に沿って毎日でも入浴できるように対応している。時間のかわらずに状況に応じ入浴している。	個々の希望に合わせた入浴を行っている。例えば毎日入りたいという方は毎日入り、夕方に入りたいという方は夕方に入り、二人で一緒に入りたいという方は二人で入り柔軟に対応している。適宜、ゆず湯などを活用し、入浴が楽しめるように工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項 目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	寝具は本人の使い慣れた物合っ た物を使用させていただきいつ でも休めるように整えている。 疲れたり眠たくなってきたら 居室でいつでも休んで頂いて いる。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めて いる。	薬剤師、医師と連携し利用者 の服薬内容、症状の把握をして いる。症状の変化を医師に報 告し適切な服薬支援をしている。 居宅療養管理指導をとってい る方もおられる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	全体のレクリエーションだけで なく工作や散歩買い物などそれ ぞれの希望に沿った支援をして 役割分担は無理強いしない様 にしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	散歩買い物などご本人の希望 に沿った支援を行っている。地 域の行事などに参加している。 コロナによる面会制限が解除さ れてからは家に帰ったりされ た方もいらっしゃる。(6月)	地域行事、認知症カフェなど への参加をしている。年間外出 計画はあえて決めず、季節や 気候に応じて柔軟に外出をし ている。家族の協力にて外食、 実家に帰る方もいる。自治会 夏祭りの中止を受け、少しま ず祭り気分を味わう内容を 検討している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。	ご自身で金銭の管理をしている 利用者もおられ本人の希望に より買い物代行したりしている。		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>利用者の希望時に連絡が取れるように支援している。携帯電話を使用している方もいらっしゃる。手紙もいつでも出されている。家族からの電話は本人につないでいる。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>毎日欠かさず清掃を行い換気、空調にも気をつけている。利用者の作成した季節の飾りなども展示している。室内には植物も置いている。</p>	<p>日当たりが良く清潔な空間である。利用者が不快にならないように、飾り物も極力避けるようにしている。テーブル、ソファなどの角度の配置に工夫がされている。ゆったりとした空間により、利用者同士の会話も楽しまれており、一人ひとりが心休まり生活されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>居間にソファや廊下に長椅子を設置し自由に過ごしていただけるように配慮している。自由に居室から出入りしたりリビングでくつろいだりされている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人が使用されていた家具、布団など施設で引き続き使用していただいている。また必要な物は本人家族と相談し購入している。居室のドアには本人の了解に基づき直筆の表札をかけている。</p>	<p>今までと同じ生活ができるよう、使い慣れた家具など持ち込みは自由である。居室には、ベッド、エアコン、カーテン、照明が準備されている。生活必需品が自由に持ち込まれ、本人や家族と相談しながら快適な居住空間づくりに努めている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>施設内の表示共有物は利用者本位、自立に向けた工夫を行っている。車椅子利用の方は居室の表札を低くするなどしている。玄関や非常口のカギ、窓は利用者が自由に開け閉めしている。</p>		

V アウトカム項目(1階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	職員新人研修の際の文書として説明し理念を共有している。また、事業所内に掲示している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	事業所が自治会会員として地域の行事に参加している。運営推進会議にも地域の方々に参加いただき交流している。コロナで自粛期間は行事が中止になって交流が減った。その中でも近所の野菜市には買い物に出かけた。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	同じ地域の他事業所、包括支援センターと協力し啓発活動に取り組んでいる。積極的に地域行事に参加することで認知症の方への理解を共有できる機会を設けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、その意見やサービスをサービス向上に活かしている。	利用者家族、地域住民、消防署員等参加していただいている。また他事業所と合同で開催し情報交換を行っている。頂いた意見を会議で共有しケアに活かしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	事業内容、サービスについて必要な連絡、情報、報告、相談を行い協力している。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	運営推進会議等で意見をいただいている。職員の研修を定期的に行い、職員会議で取り上げ実践につなげている。運営推進会議で身体拘束適正化について毎回話し合っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている。	行政主催の研修に参加し事業所内の研修を定期的に行い意識を高めている。また不適切ケアについて相談報告しやすい環境作りに取り組んでいる。気になる事は小さいことでも会議で話し合っ注意している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	法人外の研修に参加、支援に活かしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	利用者、家族との話し合いの時間、回数を十分にとり、対応している。質問があれば詳しく納得を得ていただけるように説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議、家族会に参加していただき意見をいただいている。また、面会に来られた際や電話などで食事内容についての事や、義歯の不具合、洗濯物の洗い方など気付いた事をその都度話していただける。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期的に会議の場を設け意見を反映させている。リーダーと職員との一対一の面談も行った。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	定期的に見直しを行い労働条件の改善を行っている。面接の際には一人一人に意見を聞いている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人外の研修に職員が積極的に参加できるように費用負担を行っている。法人内の研修も定期的に行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	他事業所と合同で運営推進会議を開催する等交流の機会を作っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	十分な時間をとり利用者の納得が得られるよう対応している。入居前の面談に伺い話を聞いている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族の納得が得られるよう時間をかけ回数を重ねて関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	時間をかけ本人家族のニーズを見極め、特養や老健など事業所外のサービスも利用していただけるよう対応、アセスメントを行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご自身でできる事したいことを妨げないよう支援を心がけている。掃除など利用者自身の意欲に合わせて共に取り組んでいる。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	利用者のQOLの向上の為、本人家族とケアのあり方について対話を行っている。家族、本人の意向に沿ったケアプランの作成に協力していただいている。いつでも面会や外出ができるように支援している。何かあれば家族に連絡相談している。また家族からの相談も話を聞いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	手紙のやり取りや面会など本人の希望に沿って支援している。ご近所な方なども面会に来られている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	レクリエーションの開催や参加の在り方に利用者同士の関係性を配慮した対応を行っている。無理強いすることなく少人数や個別のレクリエーションもしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	本人家族の必要に応じた支援を行っている。退居された後の相談もある。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人のニーズの把握のために対話を行いケアプランを作成している。意向の表出が困難な方には家族に協力していただき本人の状態に配慮しながら支援している。又、在宅時に関わっておられたオレンジ支援チームからも意向を聞いた。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人・家族からの聞き取りを行いアセスメントを行っている。聞き取りできない場合は生活歴等から判断している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	生活記録に詳細に残し職員に情報の共有をしケアに反映させている。申し送りなどでいつもと違う様子などがあれば管理者や家族と相談している。毎日の散歩等を日課にされている方もおられる。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	毎月のケアプラン会議を開催し個々の気付きや提案は議案書として提出、検討している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	生活記録を詳細に残しケアプランの変更に関することは議案書として提出し全職員で回覧して検討を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	コロナによる面会制限中は、家族の依頼があれば買い物の代行や、受診の代行、また、リモート受診の支援などしました。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	訪問理容、訪問歯科、傾聴ボランティアや地域の行事参加など地域資源と利用者をつなげる支援を行っている。非常事態宣言もあり、傾聴ボランティアは現在中断している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	本人家族の意向に沿ったかかりつけ医により受診、訪問を受けている。施設の協力医以外のかかりつけ医の訪問もある。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に一回以上訪問看護と内部の看護職員が体調チェックを行い連携できるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時に相互の情報交換を行っている。入院中も本人や病院関係者と会い相談している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	本人家族、主治医と話し合いを行い看取りを含めたケアプランを作成している。利用者の状態によりその都度家族主治医と話し合いをしている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急対応マニュアルを作成し研修を定期的に行い職員の能力向上に努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防訓練を定期的に行い消防署員からの指導を受けている。また地域の自主防災会と連携し合同で避難訓練を行うなど協力体制を築いている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	接遇の研修を行っている。敬語で話している。会議でも気付いたことを話し合っている。申し送りが本人や他の利用者の耳に入らない様に注意している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	身だしなみや食事など本人の意思を尊重し強制はしていない。本人が意思表示をできやすいような言葉かけをするように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入浴やレクリエーション・行事参加はご本人の意志、意欲に沿って行っている。ご本人の趣味、日課などは妨げない様にしている。起床時間や就寝時間にもきっちりした決まりはない。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	外出や行事参加などTP0に合わせた身だしなみを支援している。また訪問理容を利用していただいている。毎日お化粧をされていらっしゃる方がおられる。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	本人の意欲と能力にあわせて共に作業している。味付けや量も一律でなく利用者により変えている。無理強いせず食器洗いや下膳などをしていただいている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>栄養バランスに関する研修を行っている。また利用者の状態好みに合わせた食事、間食も提供している。食事量は体重の変化にも気をつけてそれぞれで変えている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後利用者に応じた口腔ケア実施している。希望者には訪問歯科も利用していただき、指示指導してもらっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>入所時に紙パンツだった利用者が布パンツになったケースもあり排泄の自立に向けた支援を行っている。トイレで排泄する事の大切さも会議等で話し合っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘薬に依存傾向にある利用者さんに対しては主治医と相談しながら薬に頼らなくても済む様に話し合う。または水分、食事の内容を検討し取り組んでいる。食材にも繊維の多い物や乳製品を取り入れるよう気をつけている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>利用者の希望に沿って毎日でも入浴できるように対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安心 して気持ちよく眠れるよう支援して いる。</p>	<p>寝具は本人の使い慣れた物合った物 を使用させていただきいつでも休める ように整えている。疲れたり眠たくな ってきたら居室でいつでも休んで頂 いている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理解 しており、服薬の支援と症状の変化 の確認に努めている。</p>	<p>薬剤師、医師と連携し利用者の服薬 内容、症状の把握をしている。症状の 変化を医師に報告し適切な服薬支援 をしている。居宅療養管理指導をとっ ていらっしゃる方もいる。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ご せるように、一人ひとりの生活歴や 力を活かした役割、嗜好品、楽しみ ごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>全体のレクリエーションだけでなく 工作や散歩買い物などそれぞれの希 望に沿った支援をしている。もくも くと一人で作品作りをされ外部に展 示された方もおられる。個人で新 聞を購入され、毎朝玄関にご自分 で取に来ていらっしゃる方がおら れる。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるよう支援に 努めている。また、普段は行けない ような場所でも、本人の希望を把 握し、家族や地域の人々と協力し ながら出かけられるように支援し ている。</p>	<p>散歩買い物などご本人の希望に沿 った支援を行っている。地域の行 事などに参加している。夜間の外 出にも同行している。コロナ対応 で外出が難しくなった後でも近 所の散歩は継続している。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひと りの希望や力に応じて、お金を所 持したり使えるように支援してい る。</p>	<p>ご自身で金銭の管理をしている利 用者もおられ本人の希望により買 い物支援をしている。受診時は自 分で病院費用を払っている方もお られる。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>利用者の希望時に連絡が取れるように支援している。携帯電話を使用している方もいらっしゃる。手紙を毎日の様 に書いていらっしゃる方もおられる。家族からの電話は本人につないでいる。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>毎日欠かさず清掃を行い換気、空調にも気をつけている。利用者の作成した季節の飾りなども本人の希望による展示している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>居間にソファや廊下に長椅子を設置し自由に過ごしていただけるように配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人が使用されていた家具、布団など施設で引き続き使用していただいている。また必要な物は本人家族と相談し購入している。居室のドアには本人了解に基づき表札をかけている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>施設内の表示共有物は利用者本位、自立に向けた工夫を行っている。車椅子利用の方は居室の表札を低くするなどしている。玄関や非常口のカギ、窓は利用者が自由に開け閉めしている。</p>		

V アウトカム項目() ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームはるかぜ

作成日 令和2年8月23日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	毎日いつ何が起こるか分からない高齢者の事故や急変にその日の勤務職員によっては的確な対応が出来ない。	どんな職員でも個々が状況判断して動けるようになる。	施設内で積極的な研修や事故発生時の振り返りを行い問題点を話し合う。また、状況によってはその場で受診や初期対応を指導の下に未経験職員に行わせる。	1年
2	18	現在のコロナ禍で、これまでのような外出支援が出来ない	利用者の意向をできるだけ支援する。	その都度の状況により支援内容の検討と状況により家族にも相談する。	6か月
3	19	面会制限もあり日常の様子を家族に伝える機会が減っている。	定期的に家族へ日常報告を行う。(特に面会の少ない家族)	写真や手紙を送ったり電話やリモートも活用する。	6か月
4	13	入職1年～3年の職員が成長できない。また、中堅もなかなか上級職員に上がれない。	資格取得やキャリアアップができるようになる。	積極的に研修を行う(施設内外問わず)職員と一緒に現状を把握し問題点や改善点を話し合う。	1年
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。